

## イネの冷害

### 冷害発生の気象パターン

気象学的には2パターンある 第一種型冷夏と第二種型冷害

### 冷夏のイネへの影響

- 1) 栄養生長期の低温による出穂遅延、それによる登熟障害
- 2) 生殖生長期の一時的低温による稔実障害

1)を遅延型冷害、2)を障害型冷害という

### 低温障害を受けやすい時期（低温感受性の高い時期）

- 1)幼穂の形成開始期、2)花粉の形成期、3)出穂開花期、4)受精直後の登熟初期。上記の4時期のうち特に重要なのは2)

### 冷害の回避対策

遅延型冷害 品種（適切な熟期（早晩性）、耐冷性）選択など

### 障害型冷害

穂孕期の深水かんがい、穂孕期前の深水かんがい（前歴深水かんがい）

## 霜害

- ・植物の抵抗力の弱い春の晩霜期と秋の初霜期に発生
- ・霜により植物体が凍結し、凍死する

### 霜害の防止法

被覆法、煙霧法、加熱法、送風法、氷結法